

アフリカサミットが開催され、危機再発防止のため金融規制・監督や国際連携の強化を明記した「共同宣言」と、各国が実行すべき具体策を盛り込んだ「行動計画」が採択された。

さらに、これらの進捗を点検するために来年4月までに次回会合を開催することで合意した。

麻生首相は議会で、日本が90年代のバブル崩壊で商用不動産価値が最大87%下落し、1500兆円もの国民の富が失われたにも関わらず、GDP（国民総生産）が一度も下がらなかつた経験を、グラフや図を使って説明。当初、財政出動に消極的だった米国にこれを促し、米国が受け入れる



金融サミットでの麻生首相と中川大臣
＝15日、アメリカワシントン

金融危機の影響を受けたアジアや中南米、アフリカなどの中小途上国の有力地場銀行に対し、出資や劣後融資を直接行うことで財務基盤を強化、金融システムを安定化を図る。IFCは世界銀行グループの機関で、途上国の経済開発の促進を目的に、民間部門に対する投融資や技術支援などを行っている。

アメリカ・ヨーロッパ、日本で15日午後に金融サミットが開催され、危機再発防止のため金融規制・監督や国際連携の強化を明記した「共同宣言」と、各国が実行すべき具体策を盛り込んだ「行動計画」が採択された。

さらに、これらの進捗を点検するため来年4月までに次回会合を開催することで合意した。

刑になつた
が終わつた後
の代表が「も

のスピーチ

同席した中川貢務・金融担当相は、成果文書に麻生首相の提言が色濃く反映されたのを

行資本増強ファンド（
仮称）」を設立すること
とで正式に合意した。

G20金融サミット開催 サミットでも麻生節 日本の存在感発揮

日本前向新聞

第2号
2008年11月
日本前向新聞社

途上国銀行支援
日本と世界銀行が
ファンドを設立

APEC首腦會議

金融危機で主導的な役割

ストロスカーン国
通貨基金（IMF）
務理事は、14日、以下
の声明を発表した。
「IMFに對して是
大1000億ドルの
金提供を実施する用
があるとした、日本
麻生首相の発表を歓
迎する。これは、金融
資本市場の安定維持
大きく貢献するもの
あり、また日本のリ
ダーシップと多国間
調主義への強いコミ
トメントを明確に示
ものである。
世界金融システム
かつてないストレス

受けている現下において、この度の日本の行動は、IMF加盟国¹85カ国、とりわけ新興市場諸国で金融支援が必要になつた場合、IMFにそのニーズに応える十分な財源があるという信頼感を高めることにつながるだろう。これは国際社会が新興市場諸国に対し強力な支援を実施する用意があるというシグナルであり、こうした諸国の金融市場の混乱に対する抵抗力を強めるものとなろう。

融の安定を促すという IMFの中核的な使命を後押ししてきたという誇るべき実績がある。日本はこれまでも資金支援として、危機に見舞われた中所得国に対する IMF支援プログ ラムに協調融資したり、低所得国に対する IMF の譲許的融資制度や技術支援のために無償資金協力を実施するなどしてきた。他の国々に対しても、世界経済の安定回復にむけた我々の努力に対する支援を期待したい。

提唱されている「アジア太平洋の自由貿易圏」(F T A A P)構想については、今後も継続して研究を進めることを明記した。隠れた焦点だった中国の胡錦濤国家主席との会談については、中国側の要請にも関わらず中国が会談日程を一転三転させ、これに日本側が振り回される場面が見られた。背景には、国際金融

危機への対応で日本の後手に回つてはいるとの中國側の焦りがあり、日本の引き立て役にならないようとの思惑があつたようだ。会談の中で麻生首相が胡氏に、国際通貨基金（IMF）への資金拠出を念頭に中国の積極的な参加を促し、胡氏が返答に詰まる場面も見られた。次回は来年11月、シガポールで開催。